

2018 年 5 月 3 日(木)埼玉県民の森・春の自然観察会報告

日 時：平成30年5月3日（木・祝日）

天 候：くもり

参加者：一般9名（他に、農林公社栗島氏、駒井氏、高杉事務局長）

担 当：渡辺英城・岡登伸一

開催日となる5/3は、数日前より天気予報では傘マーク。ずれることを祈りながら当日を迎えましたが予報通り朝方から雨でした。広報では小雨決行となっていたものの、果たしてお客さんは来るだろうか？ 折角17名も申し込んでくれたのに・・・。

決行するとしてコースはどうするか？ いろいろな事を考えながら予定通り家を出ました。県民の森駐車場に到着すると今回一緒にガイドを務めて下さる岡登さん、高杉事務局長と合流し、合羽を着て集合場所である学習展示館前の東屋へ。東屋に着く頃には雨はほぼ止んだものの参加者らしき姿は1人もおらず、農林公社の栗島氏によると案の定キャンセルが多かったとのこと。今回は中止か？・・・と思いきや、開始時刻の10時近くになってから親子連れの参加者の姿が見え始め、結果9名の方々にご参加いただき、観察会開催の運びとなりました。

以下、観察会にて観察した主な植物とその解説などについてコース順に記載します。

① 東屋付近

サラサドウダンの花、カエデの花序、コウヤマキ、ハナイカダなど

② 尾根道

ヒトリシズカ、ヤマザクラ、ブナと落葉樹林、切り株にて伐採の仕方（受け口、追い口、つるの効果など）、イカリソウとマルハナバチ、ホオノキの葉、リョウブ・ナツツバキ・ヒメシヤラにて樹皮の比較、クマシデの若葉、アカマツとマツタケ、クロモジとアブラチャンの枝葉の香りなど



*丸山登山は登山道が滑りそうなので今回は取り止めとし、子供の広場へ下って昼食としました。「丸山の眺望」は埼玉県指定の文化財（名勝）に登録されており、天気が良ければ八ヶ岳連峰や浅間山など見られるため残念でした。

③ 登山口周辺から子供の広場まで

トチノキの掌状複葉、キハダの胃葉、幹が空洞のミズキ、オレンジ色の樹液酵母などスミレは例年見られるはずのナガバノスミレサイシンやアケボノスミレが今年はほぼ終わってしまっていたのですが、タチツボスミレの白花品種であるオトメスミレ（距は紫色、距まで白いものはシロバナタチツボスミレとなる）が一輪見られました。



④子供の広場周辺遊歩道

ラショウモンカズラ、ウスバサイシン、フタバアオイ、ニッコウネコノメ、ツルキンバイ、チドリノキ、イタヤカエデ、カジカエデ、ツリバナなど。

鮮やかな濃い黄色のヤマブキソウの群落
が最盛期を迎えており、一同感動しました。

ヤマブキはバラ科で花弁が5枚

ヤマブキソウはケシ科で花弁が4枚



⑤子供の広場から東屋への戻り道

ズミの花、ミズメのサロメチールの香り、
ミズメ・ヤシャブシ・ヤマハンノキの果穂、
ヤマツツジの花、モミと代々木の由来など

ほぼ定刻通りに東屋に戻り、最後にアンケートにご協力いただいて解散となりました。
天候は終始曇り空でしたが、新緑の落葉樹林や野鳥のさえずりなど、この時期ならではの
の県民の森を楽しむことが出来ました。

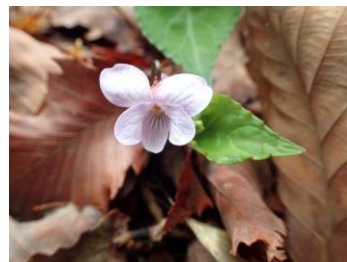
【当日見られた植物】



イカリソウの花



ナツツバキの樹皮



アケボノスミレ



オトコヨウゾメ



ツボスミレ



ニガイチゴ



ルイヨウボタン



ズミの花



ツリバナの花